

決算説明会

2020年3月期 第1四半期

ミネベアミツミ株式会社

2019年8月2日

1Qは米中問題を中心に減速が継続

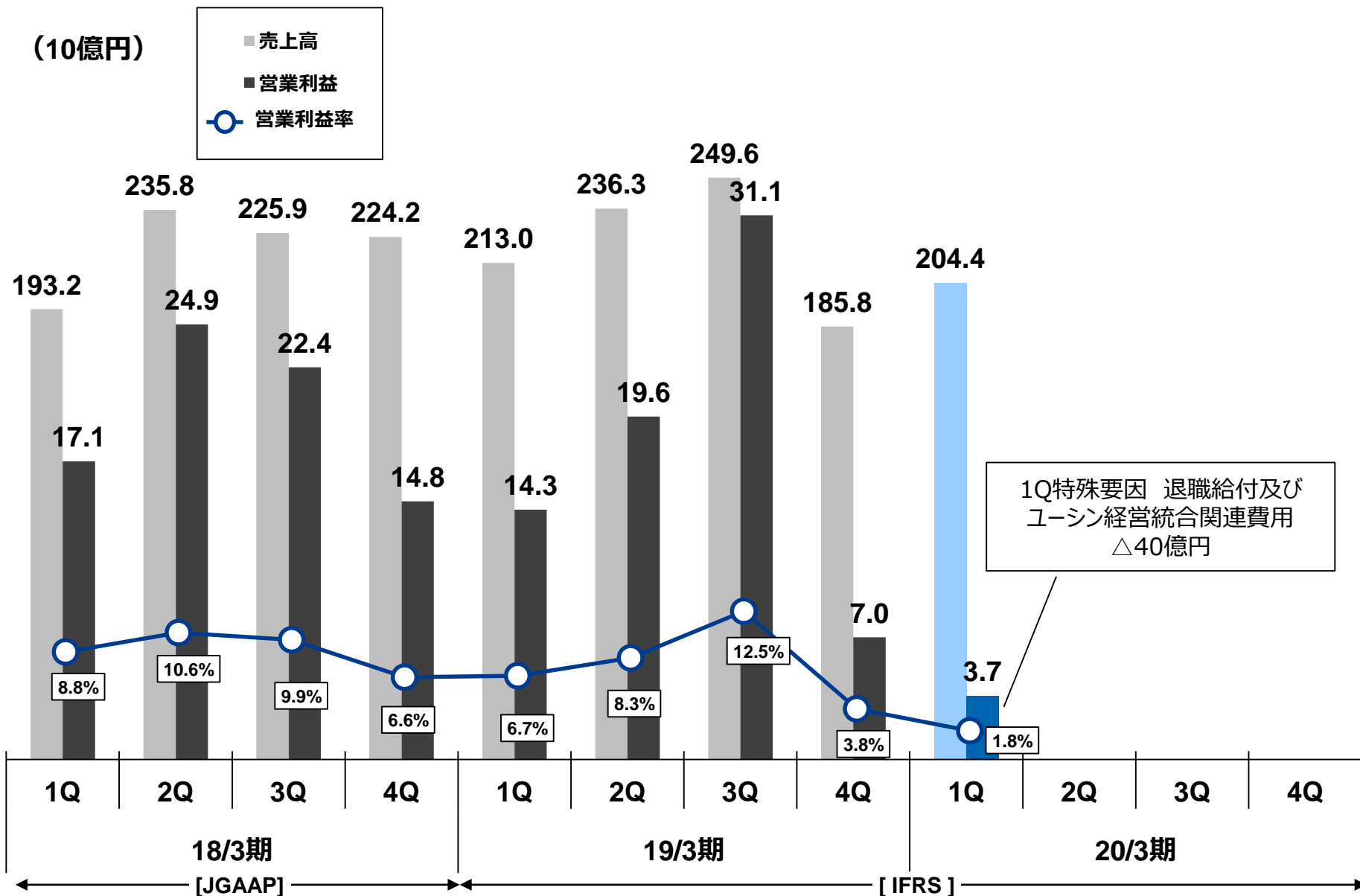
(百万円)	2019年3月期		2020年3月期	前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	1Q	4Q	1Q		
売上高	213,038	185,785	204,425	-4.0%	+10.0%
営業利益	14,291	6,994	3,663	-74.4%	-47.6%
税引前利益	14,170	6,712	3,680	-74.0%	-45.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	10,886	9,109	2,297	-78.9%	-74.8%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	25.95	21.94	5.53	-78.7%	-74.8%

為替レート	2019年3月期 1Q	2019年3月期 4Q	2020年3月期 1Q
US\$	108.10円	110.28円	110.73円
ユーロ	129.88円	126.08円	123.56円
タイバーツ	3.42円	3.47円	3.47円
人民元	17.02円	16.33円	16.28円

ただし、一過性
特殊要因あり

売上高、営業利益、営業利益率

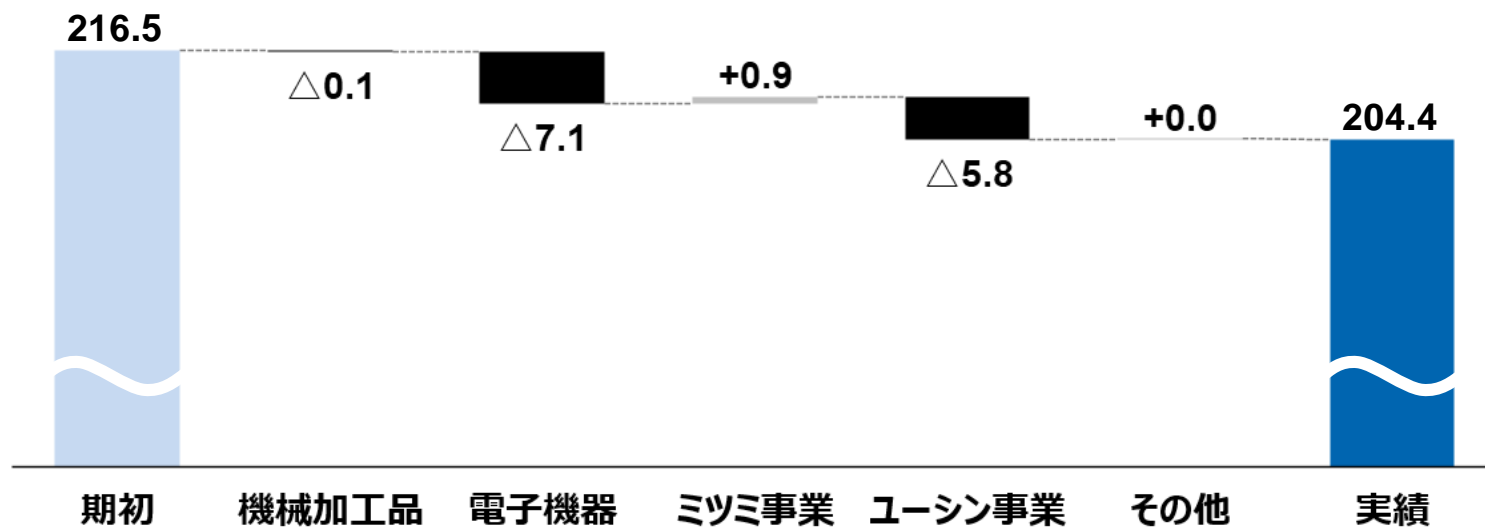
18/3期はJGAAP、19/3期以降はIFRS



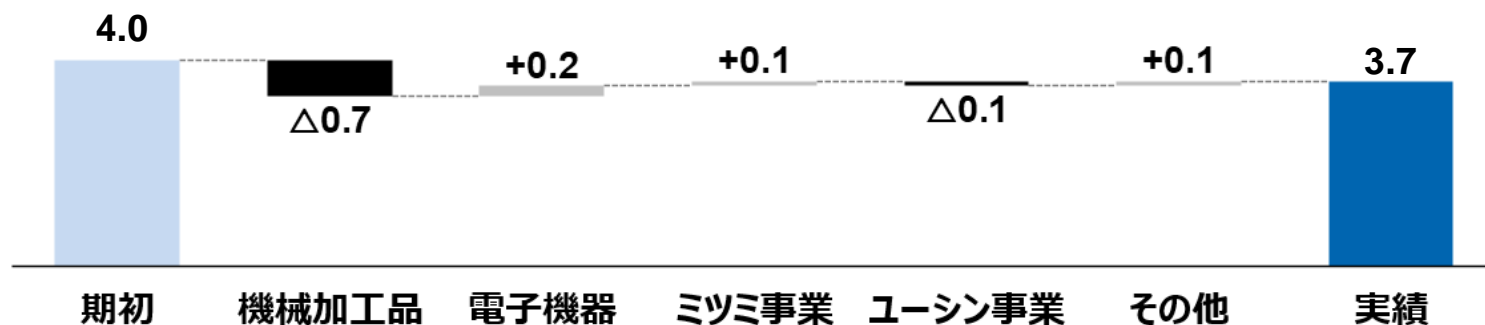
1Q実績 期初予想からの差異

(10億円)

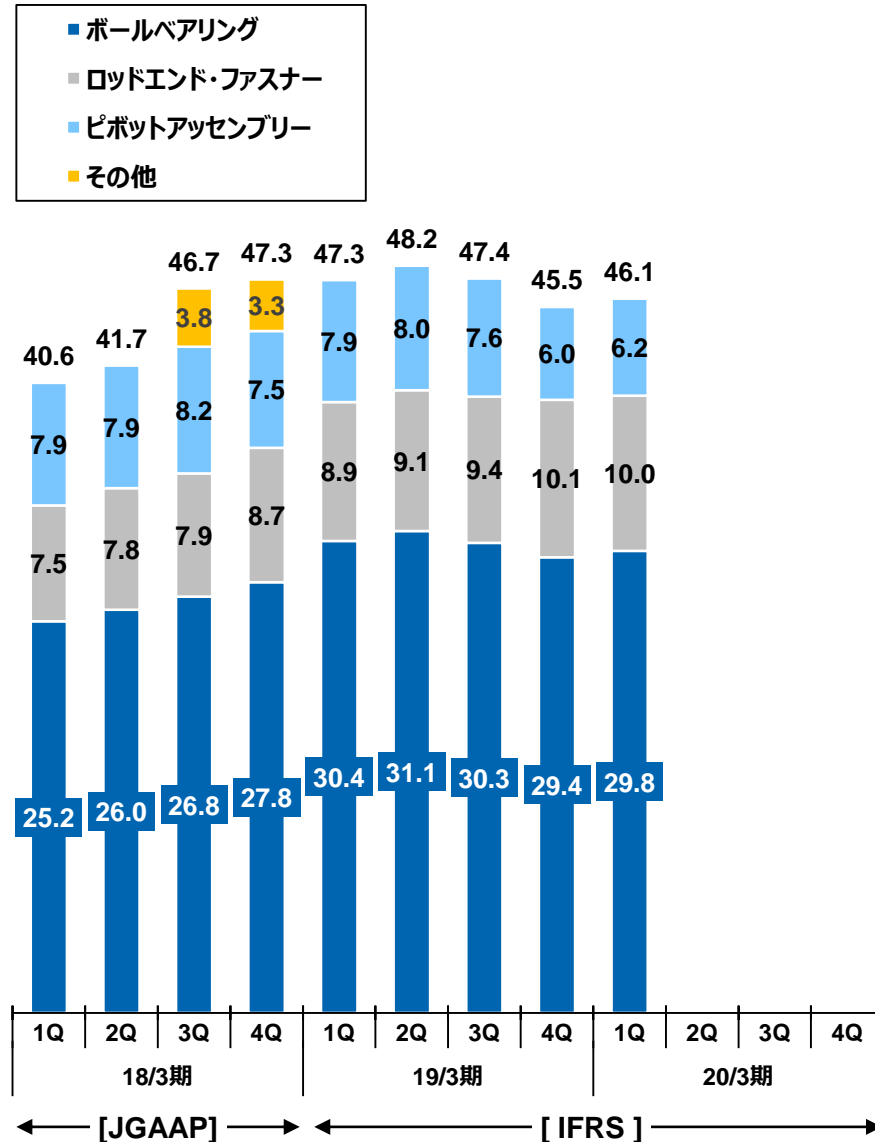
売上高



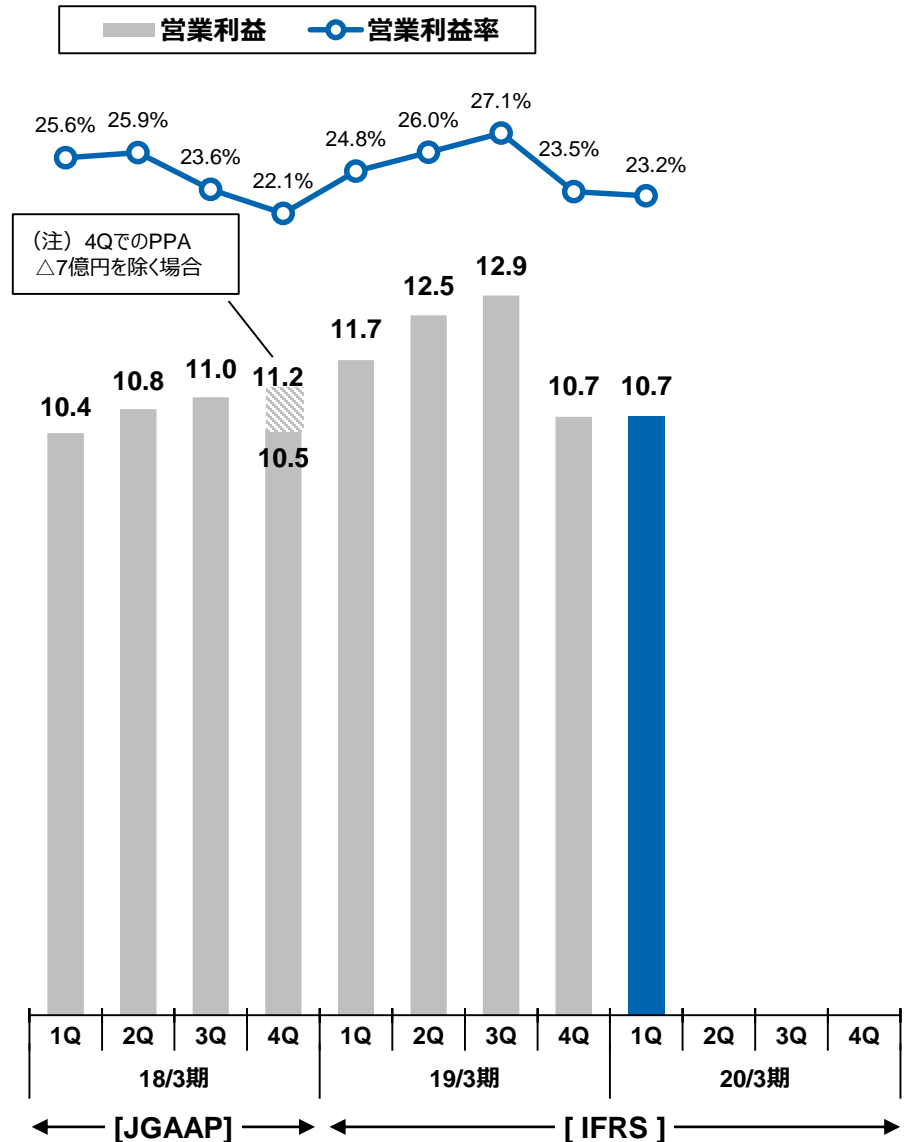
営業利益



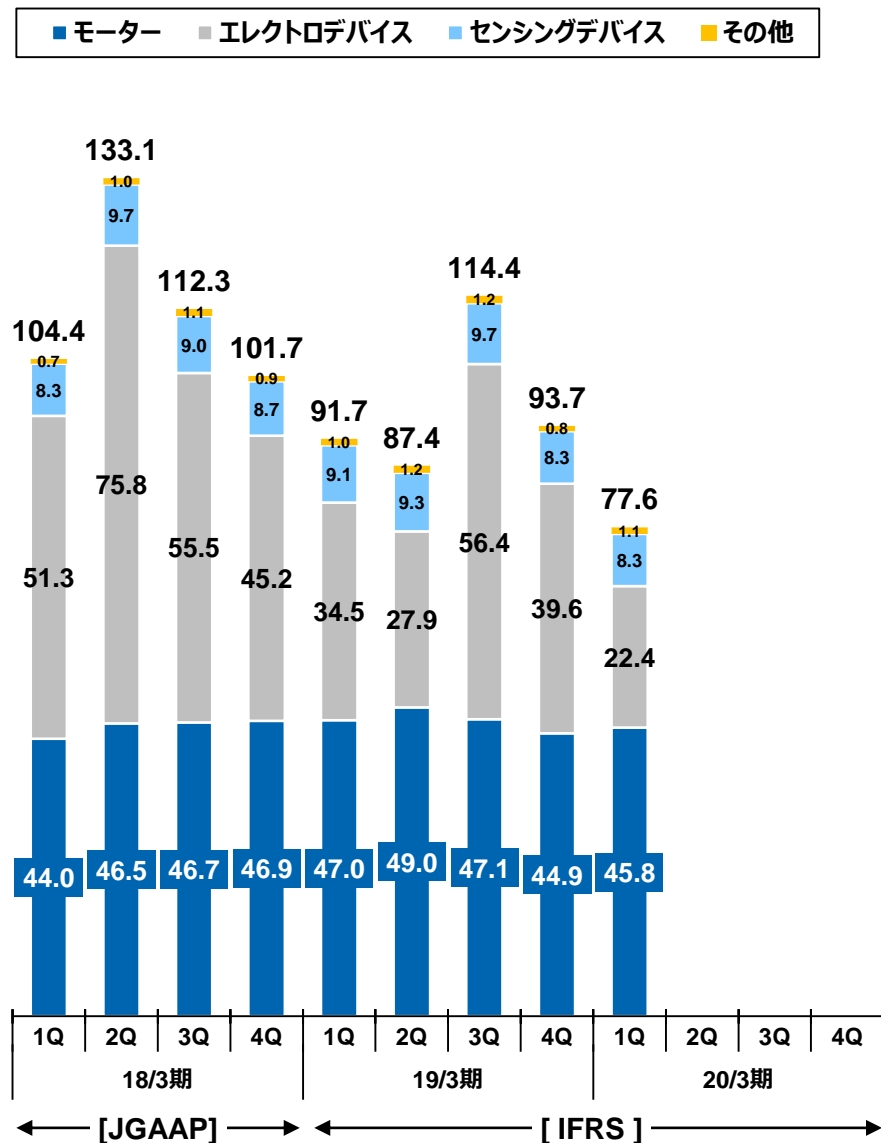
売上高 (10億円)



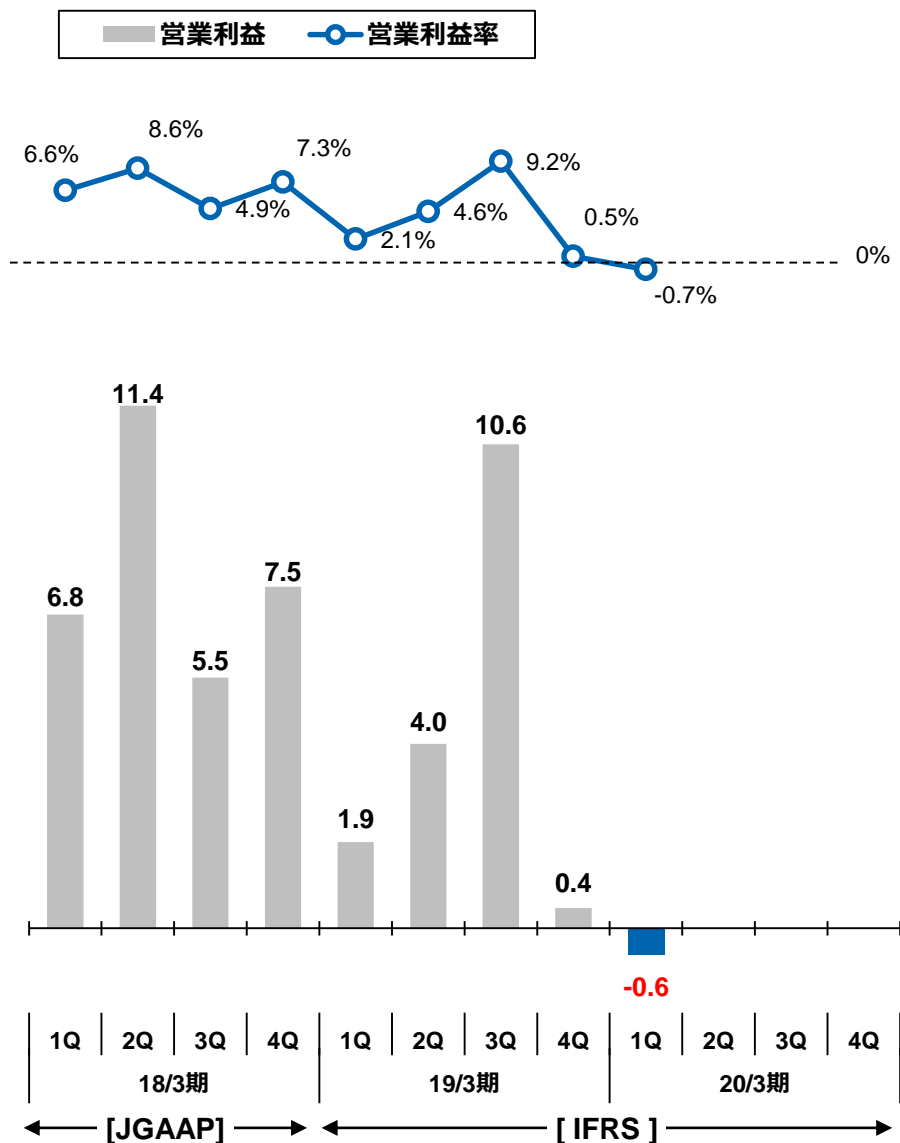
営業利益 (10億円)



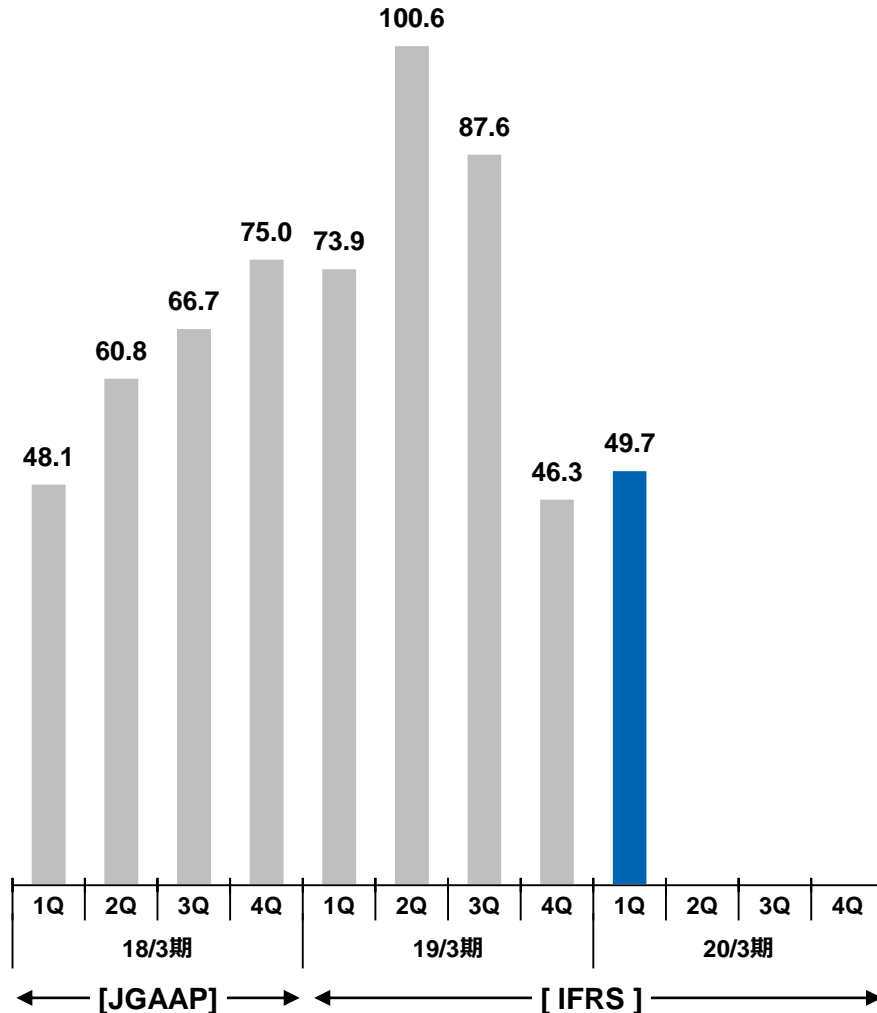
売上高 (10億円)



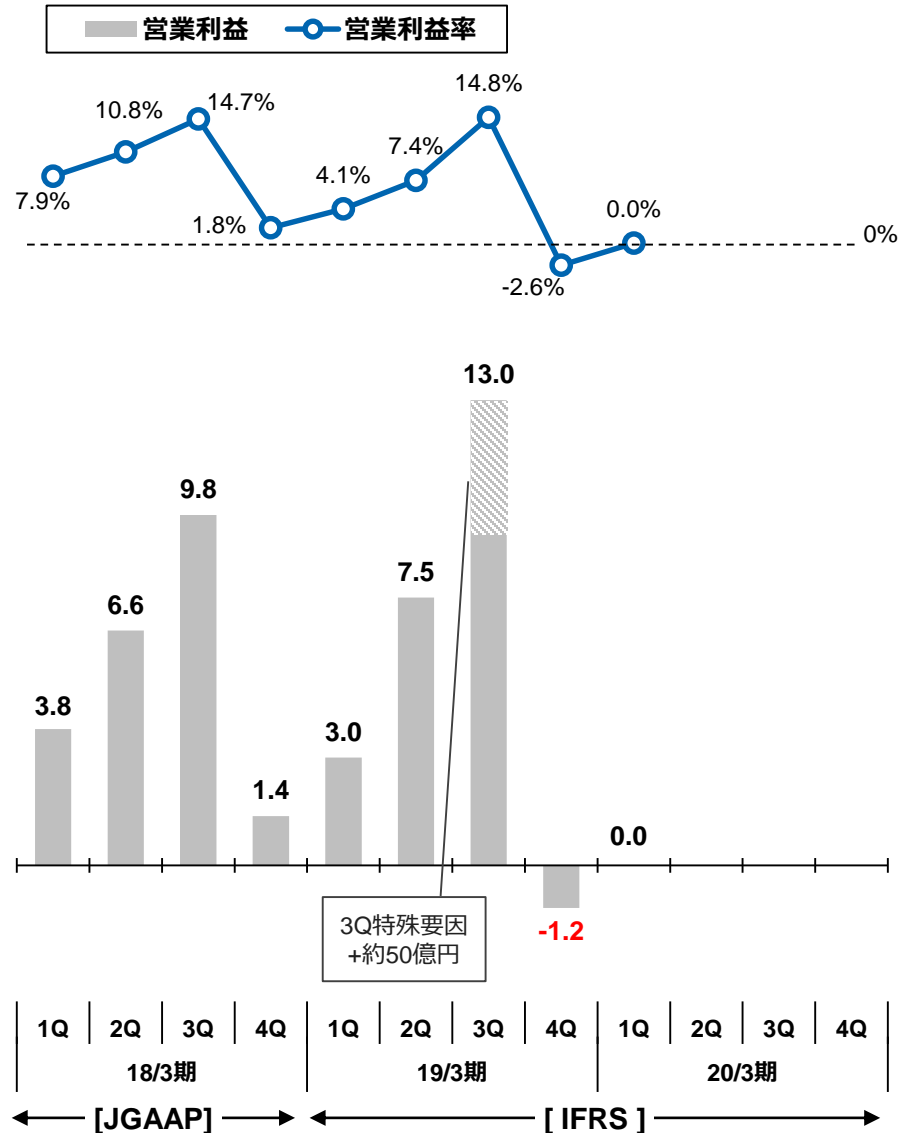
営業利益 (10億円)



売上高 (10億円)



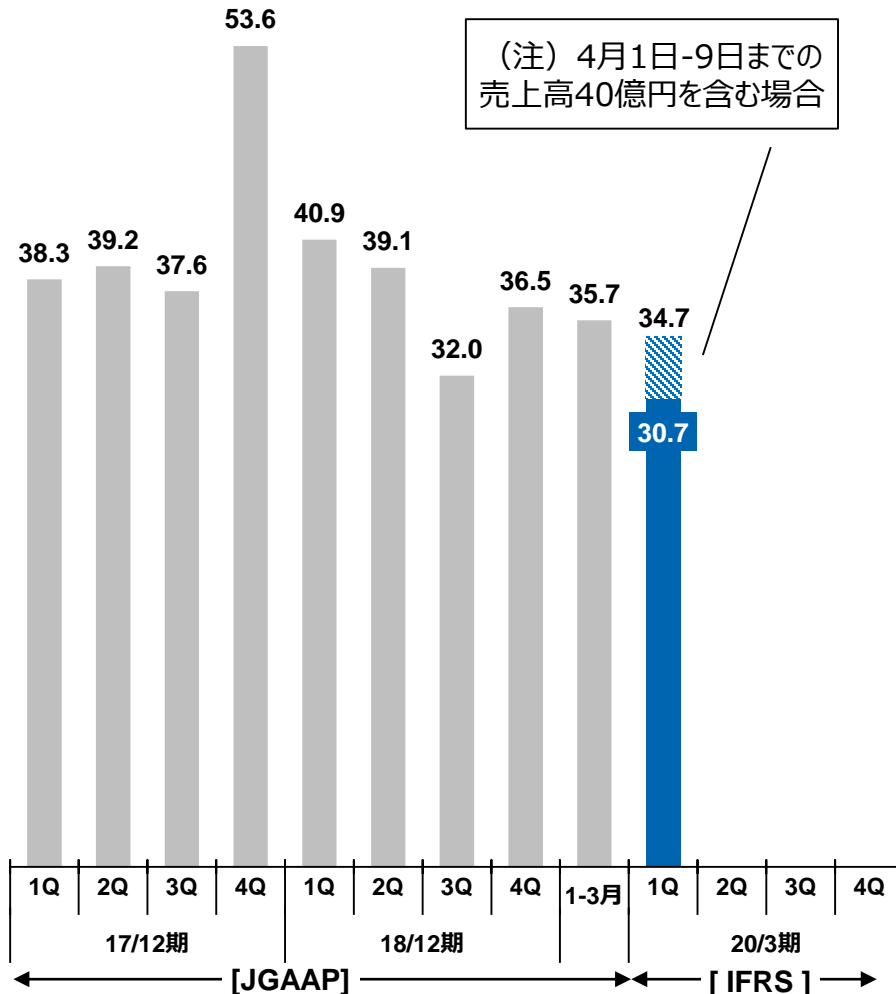
営業利益 (10億円)



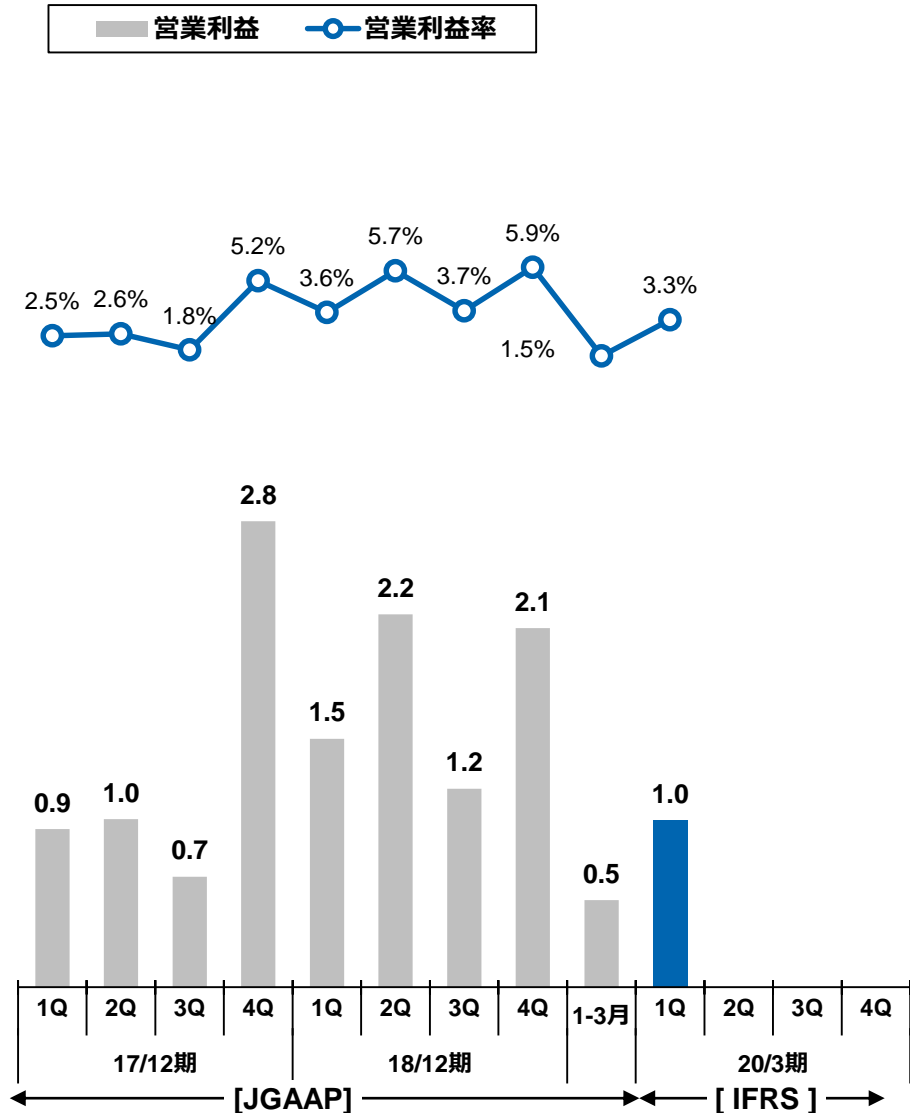
ユーシン事業セグメント

決算期変更に伴い17/12期4Qは4ヶ月決算
19/3までは経営統合前の参考値でJGAAP

売上高 (10億円)



営業利益 (10億円)

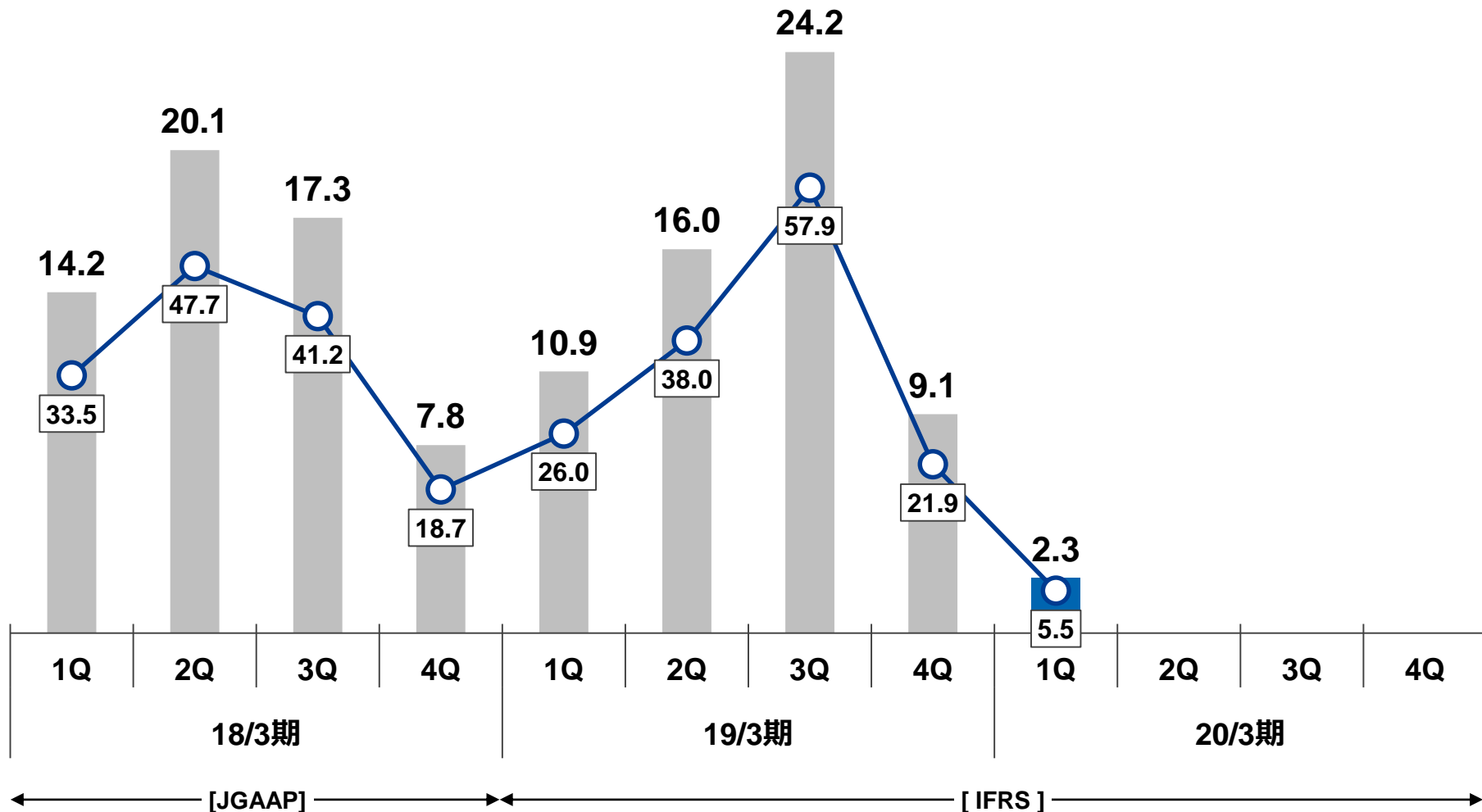


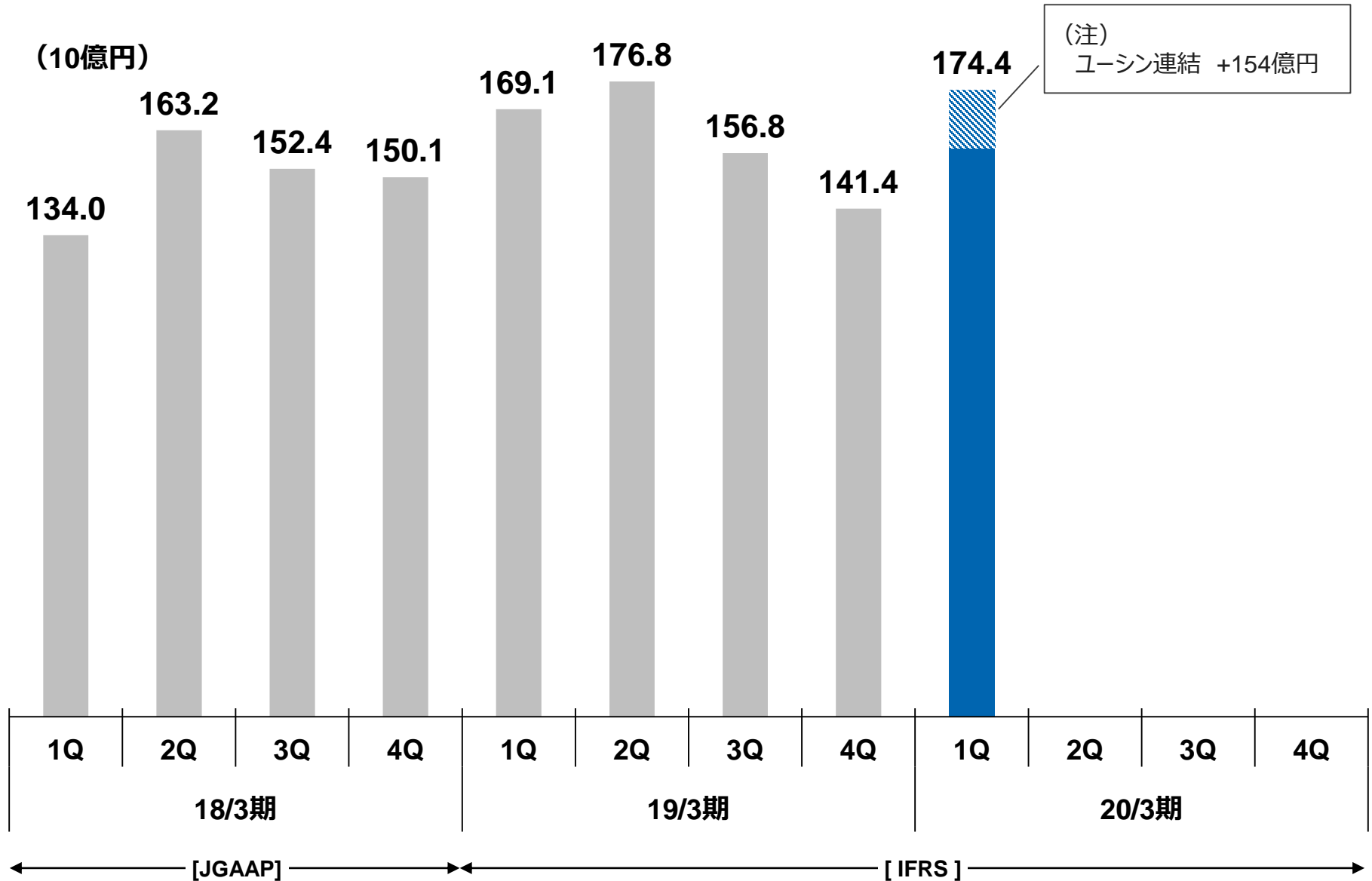
親会社の所有者に帰属する四半期利益

18/3期はJGAAP

(10億円)

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益
○ 基本的1株当たり四半期利益 (円)



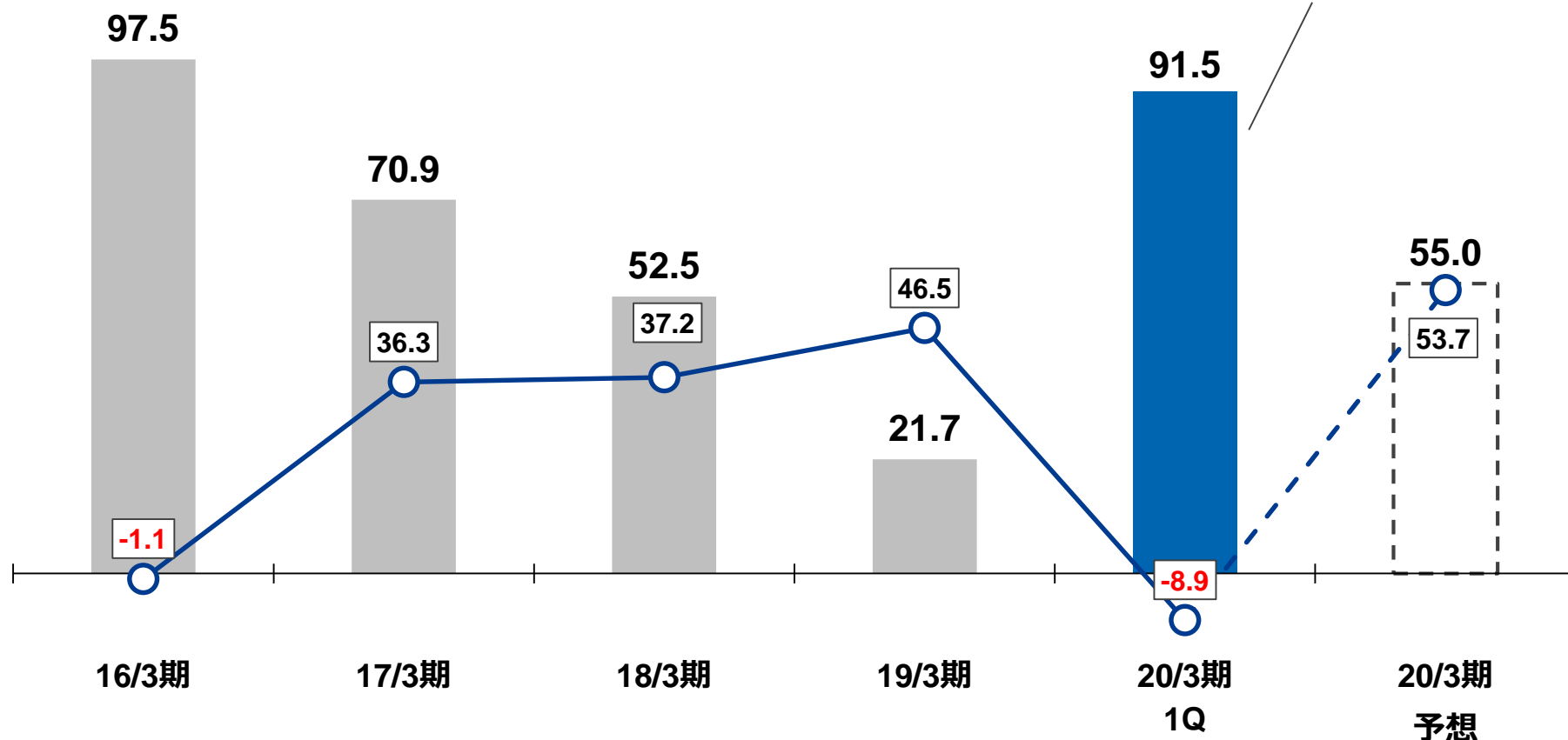


ネット有利子負債、フリーキャッシュフロー

18/3期以前はJGAAP

■ ネット有利子負債* ○ フリーキャッシュフロー

(10億円)



(注)
 ユーシン株式取得 251億円
 ユーシンのネット有利子負債 264億円
 E-Ship分配金支払 43億円
 配当金支払 58億円

*ネット有利子負債：連結財政状態計算書上の「社債および借入金」 - (「現金および現金同等物」+ 3か月超の定期預金)

[JGAAP]

[IFRS]

期初計画を据え置き

[IFRS]

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	884,723	496,500	533,500	1,030,000	+16.4%
営業利益	72,033	27,000	50,000	77,000	+6.9%
税引前利益	71,321	26,500	49,500	76,000	+6.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	60,142	21,400	40,600	62,000	+3.1%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	143.90	51.55	97.80	149.35	+3.8%

為替レート	2019年3月期 通期	2020年3月期 2Q-4Q想定
US\$	110.67円	110.00円
ユーロ	128.75円	125.00円
タイバーツ	3.42円	3.45円
人民元	16.52円	16.50円

[IFRS]

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	884,723	496,500	533,500	1,030,000	+16.4%
機械加工品	188,324	93,400	96,600	190,000	+0.9%
電子機器	387,293	189,700	214,300	404,000	+4.3%
ミツミ事業	308,423	140,900	149,100	290,000	-6.0%
ユーシン事業	-	72,000	73,000	145,000	-
その他	683	500	500	1,000	+46.4%
営業利益	72,033	27,000	50,000	77,000	+6.9%
機械加工品	47,750	24,500	26,500	51,000	+6.8%
電子機器	16,922	5,300	15,700	21,000	+24.1%
ミツミ事業	22,282	5,900	9,100	15,000	-32.7%
ユーシン事業	-	3,100	4,900	8,000	-
その他	△ 386	△ 1,000	△ 1,000	△ 2,000	5.2倍
調整額	△ 14,535	△ 10,800	△ 5,200	△ 16,000	+10.1%

- **全体**：マクロ経済の減速は**期初想定より長引くと予想**。
ただし、**電子機器、ミツミ事業を中心に2Q以降は大幅回復へ**。
- **機械加工品**：**航空機向けは順調なもの**、
ボールベアリングの足元は想定以上に弱い。
- **電子機器・ミツミ事業**：**全体として米中貿易問題の影響**を受けるとも、**多様化したポートフォリオ（市場別、製品別）が収益を支える**。リスク分散にも寄与。
- **ユーシン事業**：**中国を中心とした世界的な自動車市場減速の影響**を受けている。

企業価値向上に向けた施策が着々と進行中

1 オーガニック成長

ボールベアリング

- 足元で車載は堅調だが、FAN向けは落ちている
- 自動車、データセンター、高級家電、省人化・無人化（医療ロボット等） 向けの中長期的な需要増は不変
- 来期に向けては中国省エネ規制による家電向けの需要増を見込む

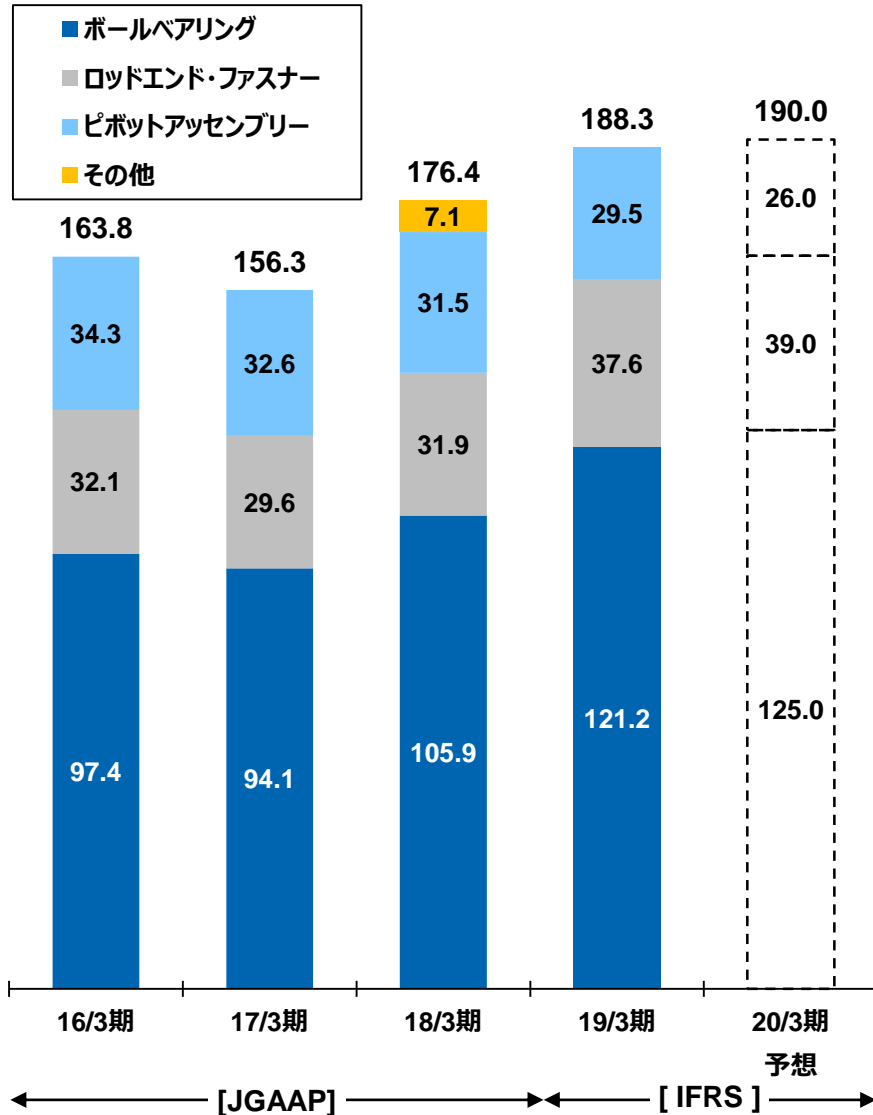
ステルス製品は順調に進捗

2 M&Aは、大小さまざまな案件を検討中

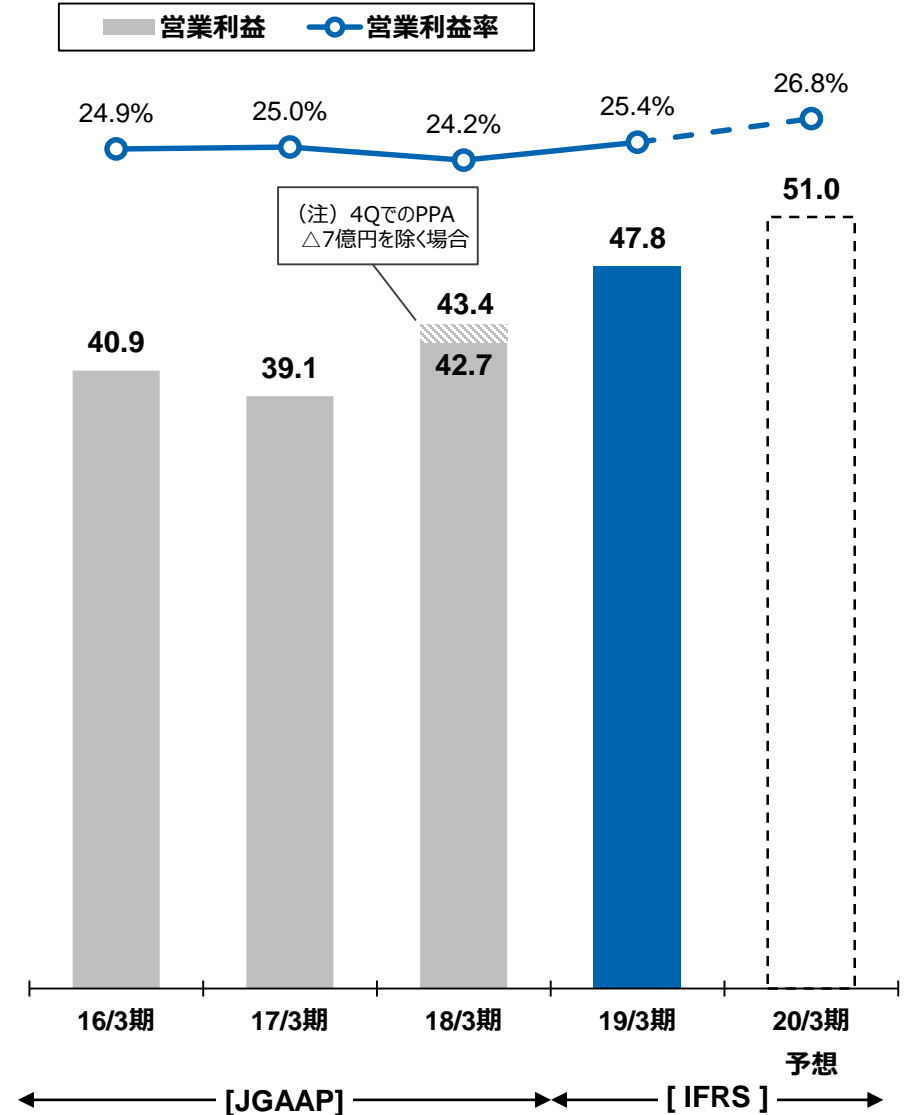
3 自社株買い実績はゼロ

參考資料

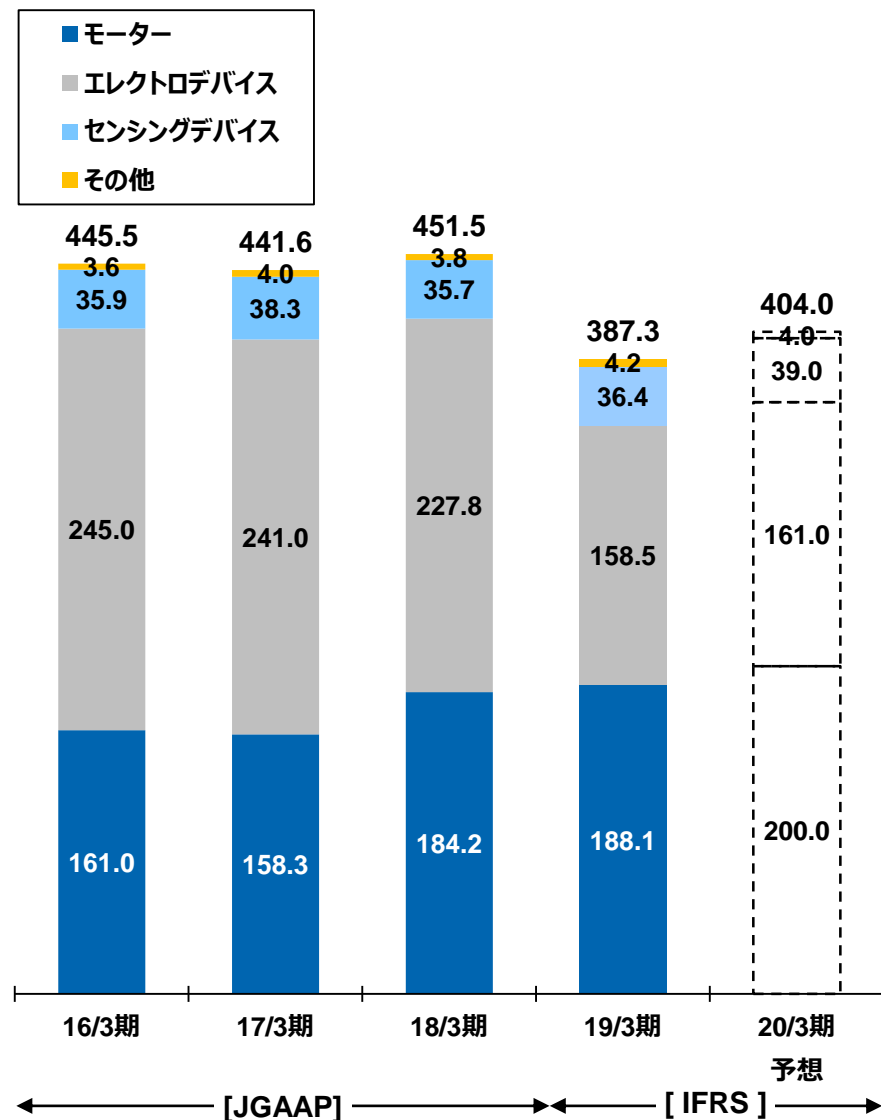
売上高 (10億円)



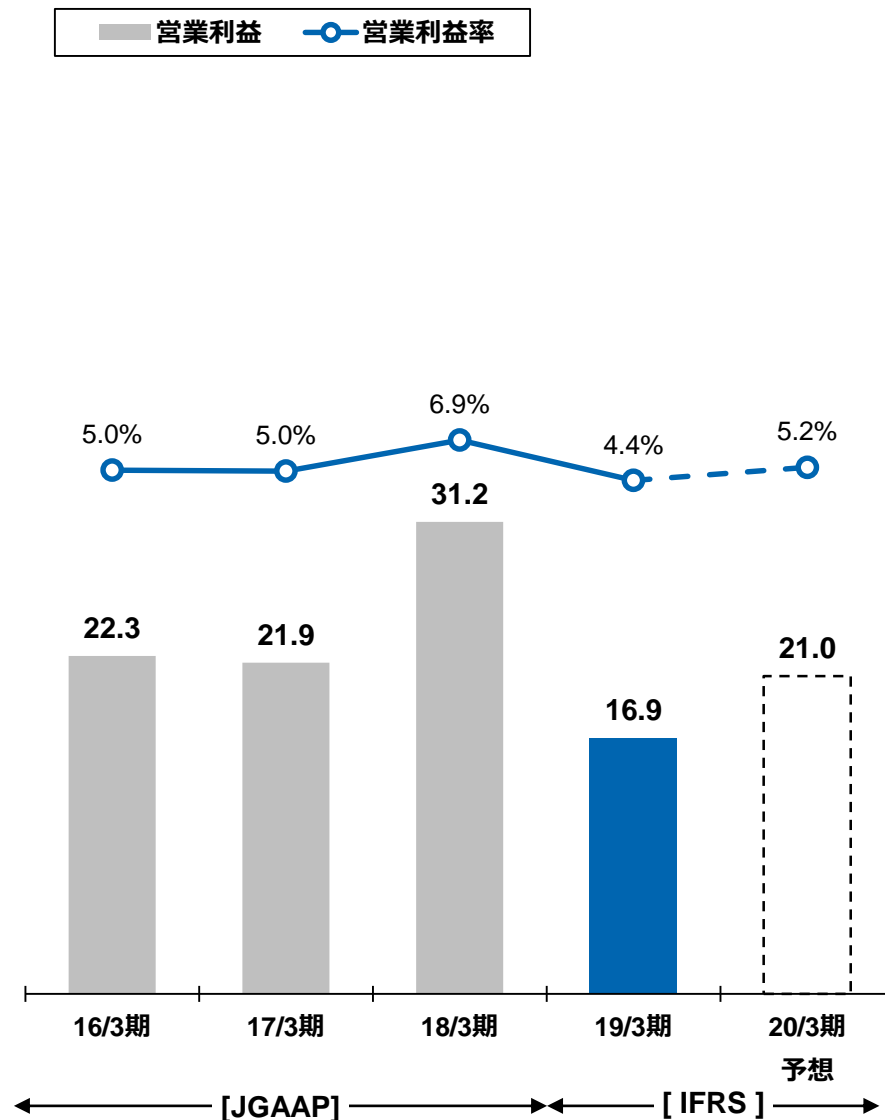
営業利益 (10億円)



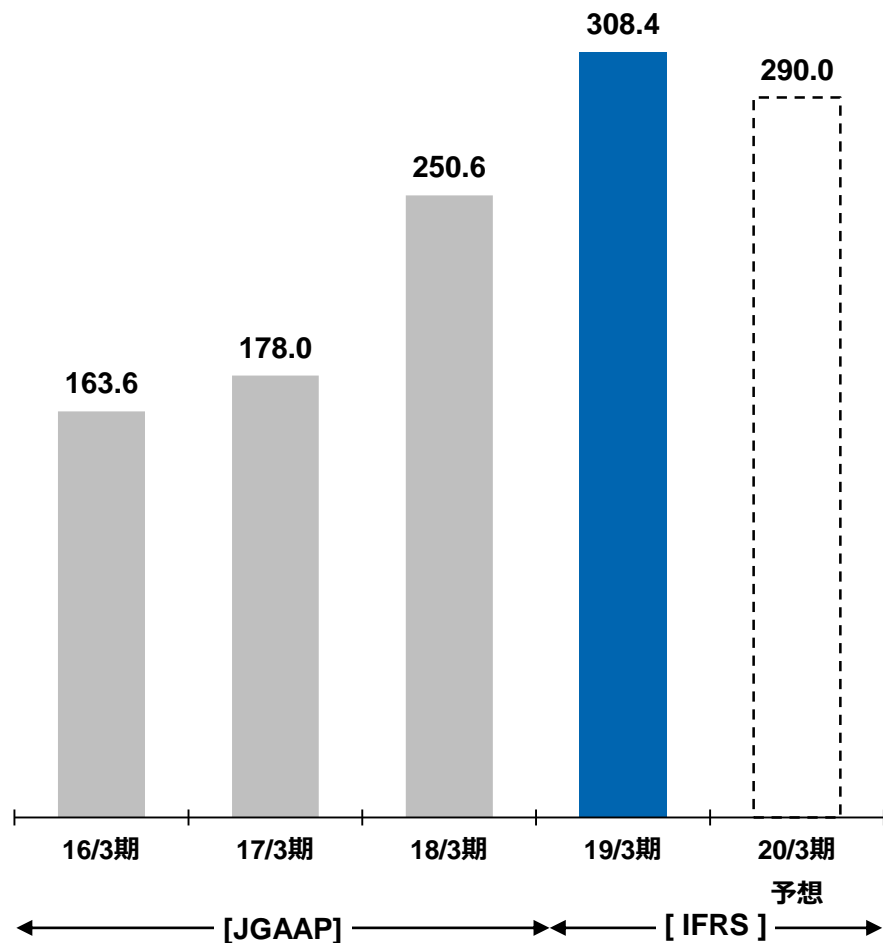
売上高 (10億円)



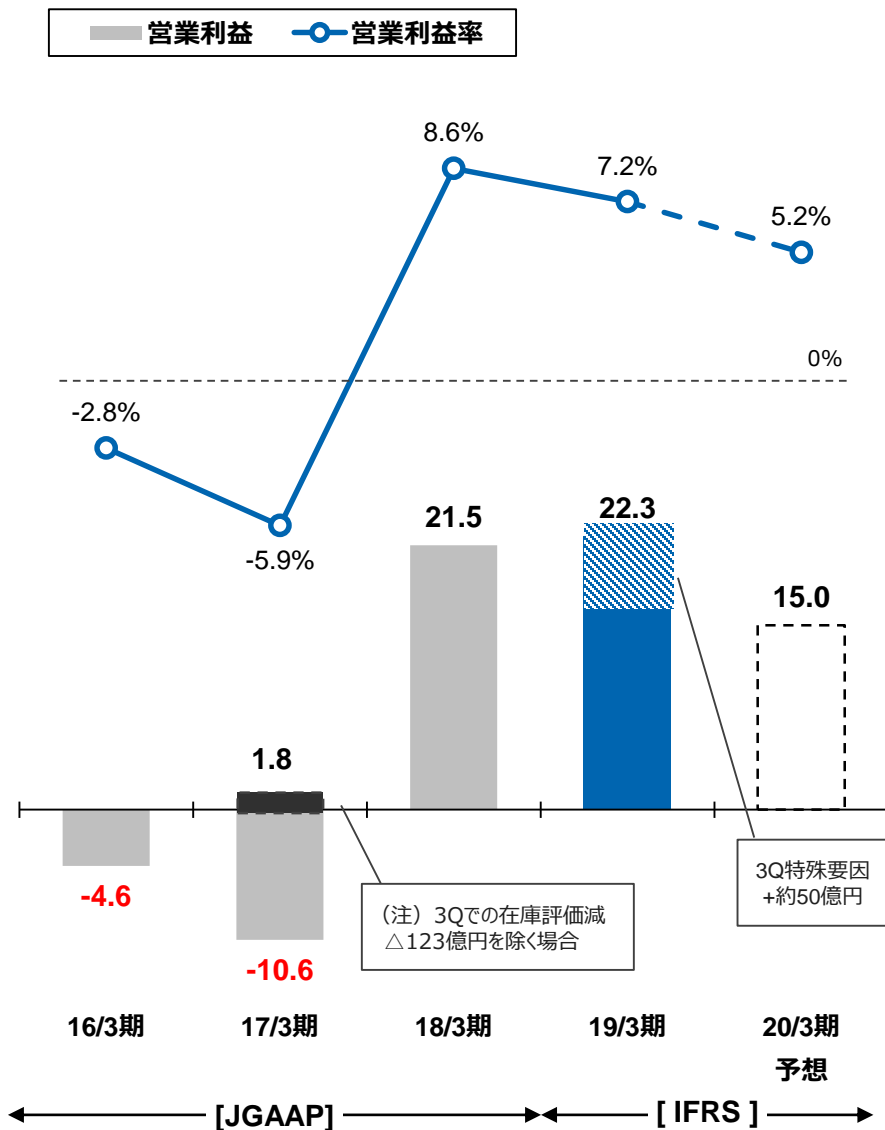
営業利益 (10億円)



売上高 (10億円)



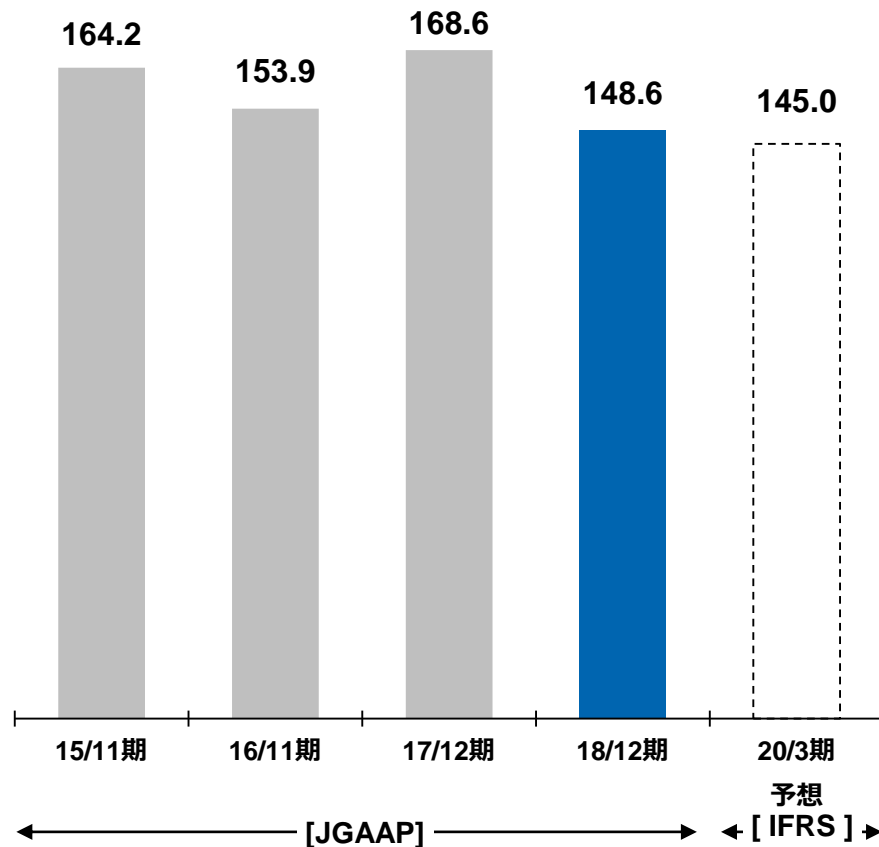
営業利益 (10億円)



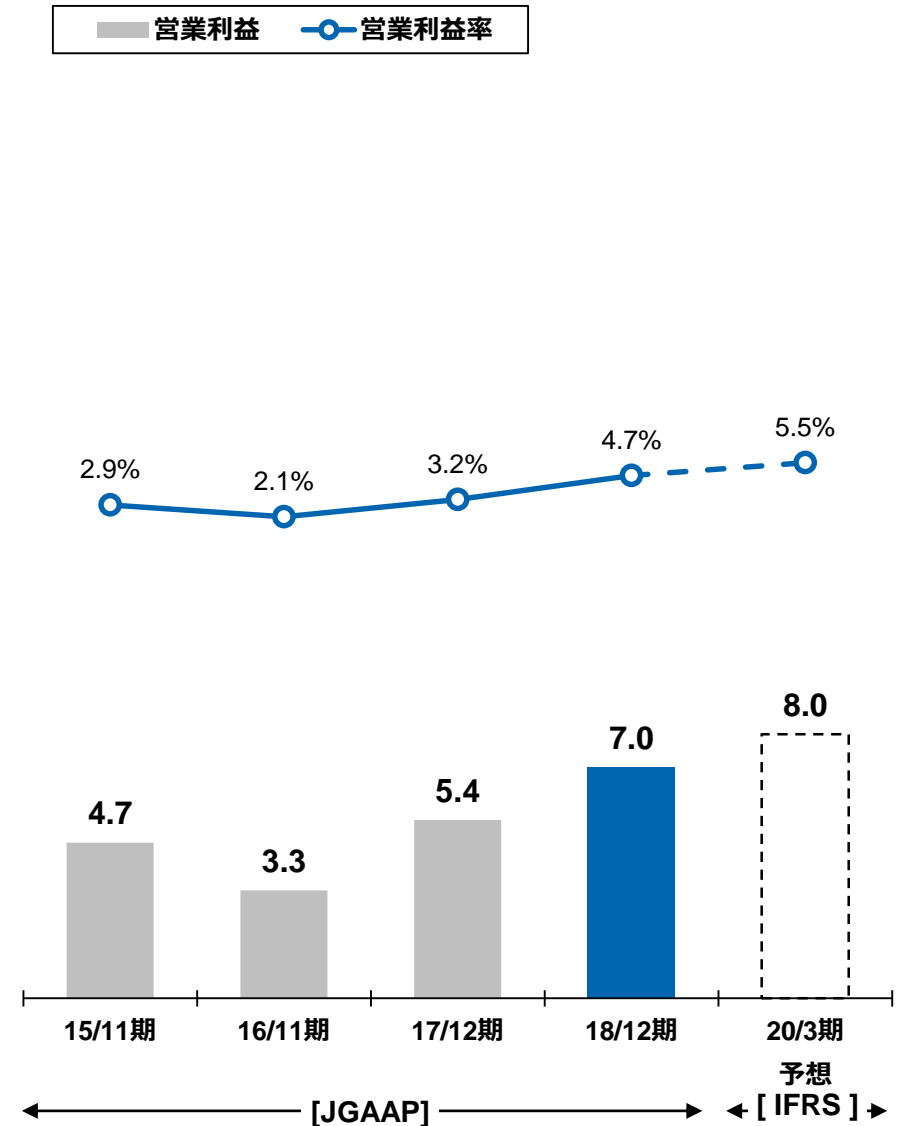
ユーシン事業セグメント

決算期変更に伴い17/12期は13ヶ月決算
18/12期以前は経営統合前の参考値でJGAAP
20/3期は2019年1-3月の数値を含まず

売上高 (10億円)

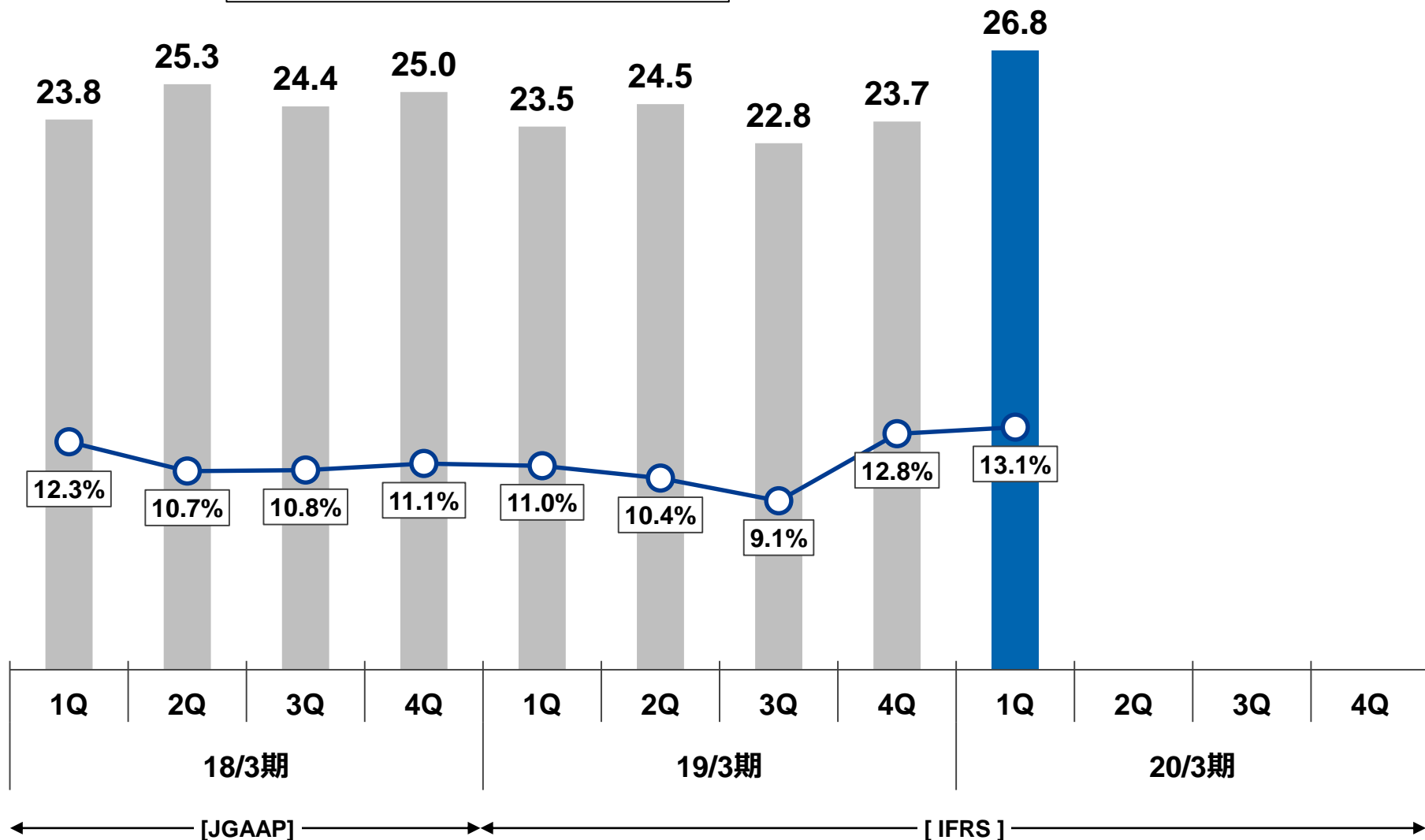


営業利益 (10億円)



(10億円)

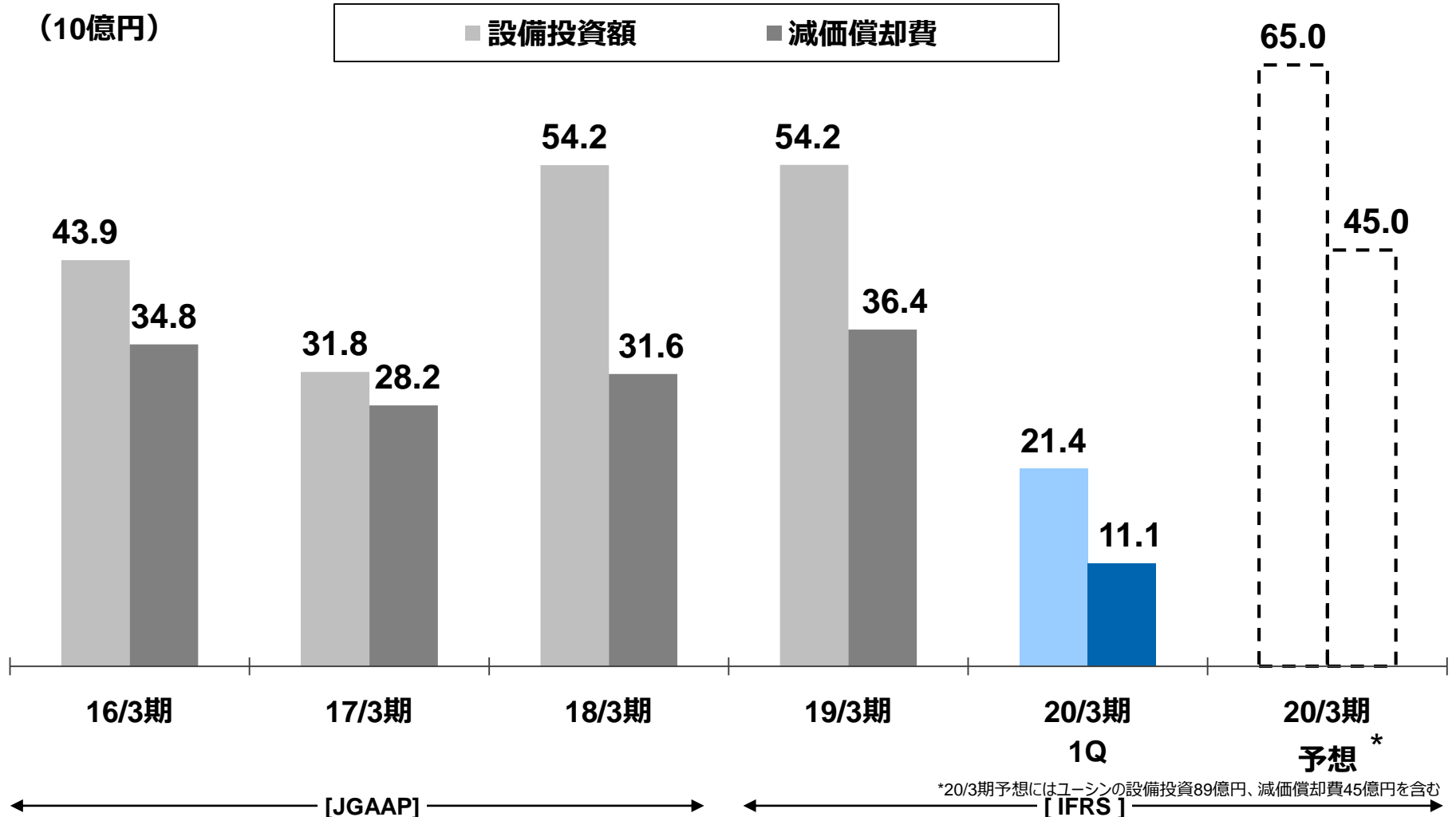
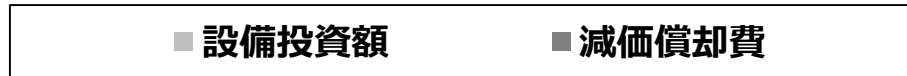
■ 販管費 ○ 売上高販管費比率



設備投資額・減価償却費

18/3期以前はJGAAP

(10億円)



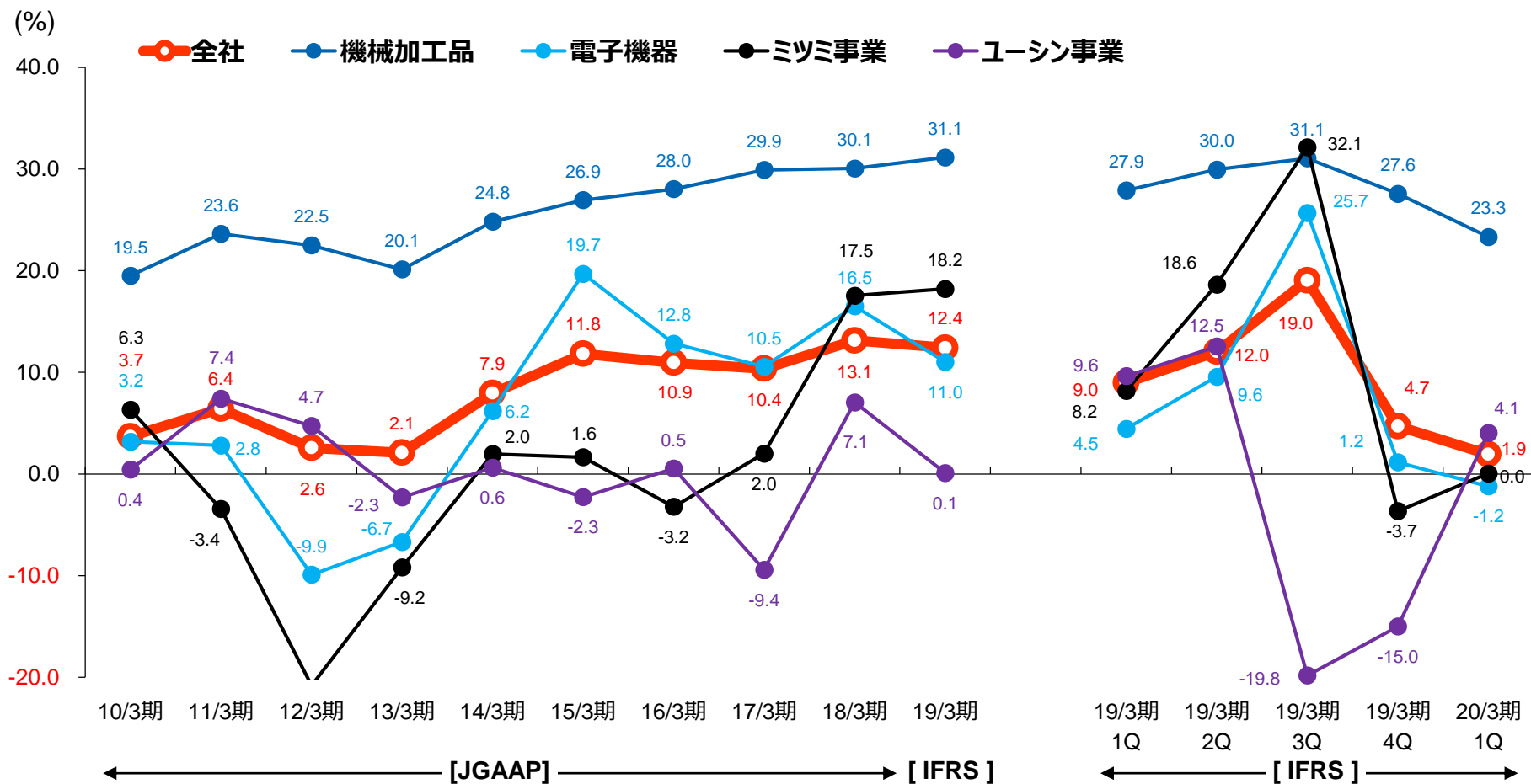
ROIC (投下資本利益率)

ユーシン事業は19/3以前は経営統合前の参考値でJGAAP、全社には含まない。その他のセグメントは18/3期以前はJGAAP

ミネベアミツミ版
ROIC

$$\text{ROIC} = \frac{\text{NOPAT (営業利益+特別損益)} \times (1 - \text{税率})}{\text{投下資本 (受取手形+売掛金+棚卸資産+固定資産-支払手形+買掛金)}}$$

セグメント別で管理できる事業資産（売上債権・債務、棚卸資産、固定資産）で算出





上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。